

令和元年度減災対策推進特別委員会中間報告書 構成（案）

1 付議事件

減災及び防災対策の推進に関すること

2 今年度の調査・研究テーマ

局地的大雨や台風等の風水害における減災防災対策について

3 テーマ選定の理由

近年、気候変動の影響から、局地的大雨等が増加傾向にあり、各地で風水害による被害が多発しており、横浜でも毎年のように大雨等による影響がでている。

西日本豪雨災害の教訓を踏まえ、内閣府において避難勧告等に関するガイドラインが改正されるなど、風水害への対策が喫緊の課題である。

風水害に強い都市をつくるために、行政によるハード面の取り組み及びソフト面との双方の取り組みが重要なことは言うまでもないが、誰もが逃げ遅れないよう、市民自身が主体的に避難行動をとるとともに、避難情報が伝達された後の市民が取るべき行動が重要である。

そこで、局地的な大雨や台風等に対する、河川、下水道、道路などの基盤整備対策、逃げ遅れゼロに向けた意識啓発や避難者支援等を軸に、風水害における減災防災対策について調査・研究を行うこととした。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和元年6月6日 委員会開催（第1回）

ア 議題

令和元年度の委員会運営方法について

今年度の委員会運営方法について意見交換を行い、次回委員会において、調査・研究テーマを決定する。

イ 委員意見概要（当日の委員意見等を記載）

(2) 令和元年7月10日 委員会開催（第2回）

ア 議題

令和元年度の委員会運営方法について

今年度の調査・研究テーマを「局地的大雨や台風等の風水害における減災防災対策」についてと決定した。

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取し、その後意見交換を行った。

【説明局】総務局、環境創造局、建築局、都市整備局、道路局

(ア)「横浜市の風水害対策」について（当局説明の概要を記載）

(イ)「河川事業、下水道事業における減災・防災対策」について（当局説明の概要を記載）

ウ 委員意見概要（当日の委員意見等を記載）

(3) 令和元年9月3日 委員会開催（第3回）

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：関西大学社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授 河田恵昭氏

案件名：風水害における防災意識向上について

(4) 令和元年9月24日 委員会開催（第4回）

ア 議題

風水害における防災意識向上について

イ 参考人講演概要（参考人講演の概要を記載）

ウ 委員意見概要（当日の委員意見等を記載）

(5) 令和元年12月4日 委員会開催（第5回）

ア 議題

調査・研究テーマ「局地的大雨や台風等の風水害における減災防災対策」について

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取し、その後意見交換を行った。

【説明局】総務局、環境創造局、建築局、都市整備局、道路局、港湾局

(ア)「今年度の主な風水害対応」について（当局説明の概要を記載）

(イ)「台風15号・19号における横浜港の被害と今後の対応」について

（当局説明の概要を記載）

(ウ)「横浜市の風水害対策～逃げ遅れゼロの実現に向けて～」について

（当局説明の概要を記載）

ウ 委員意見概要（当日の委員意見等を記載）

(6) 令和2年2月6日 委員会開催（第6回）

ア 議題

調査・研究テーマ「局地的大雨や台風等の風水害における減災防災対策」について

イ 委員意見概要（当日の委員意見等を記載）

(7) 次回委員会（第7回）

当日の概要を記載

5 局地的大雨や台風等の風水害における減災防災対策についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載